

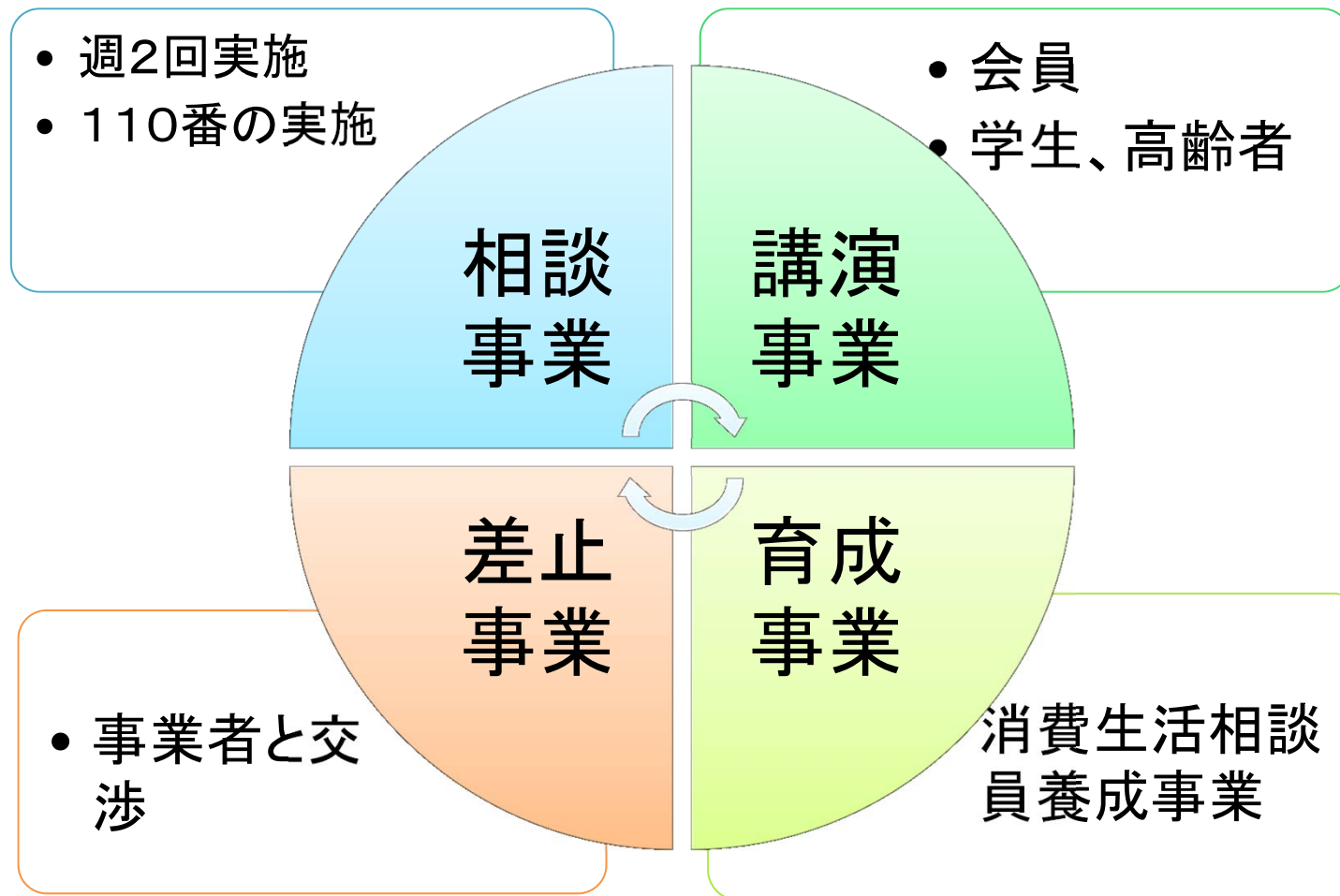
活動報告

2013. 2. 26

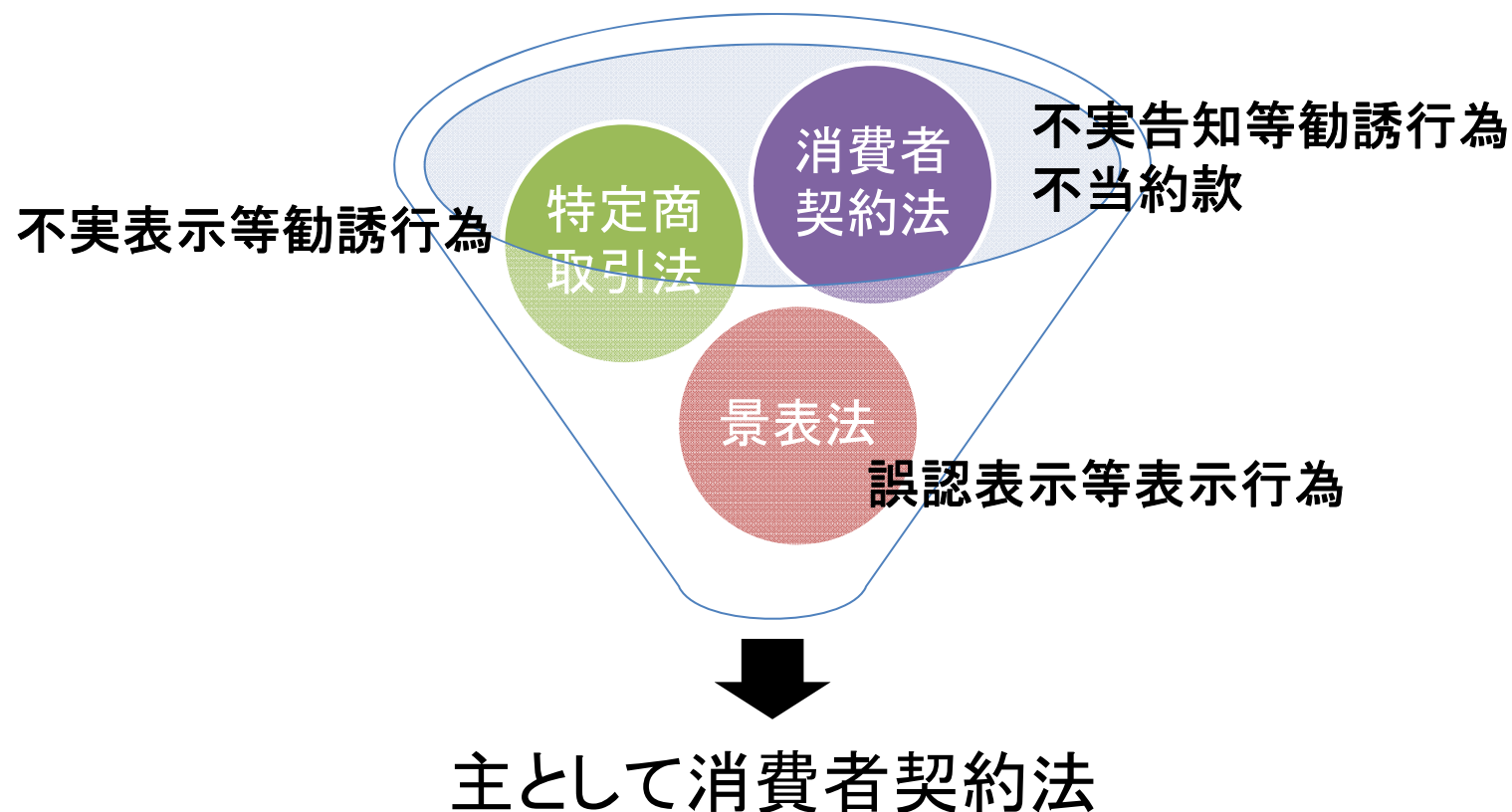
大分県消費者問題ネットワーク

理事長 井田 雅貴

2012年度事業計画(大分)



差し止めの対象となる法律

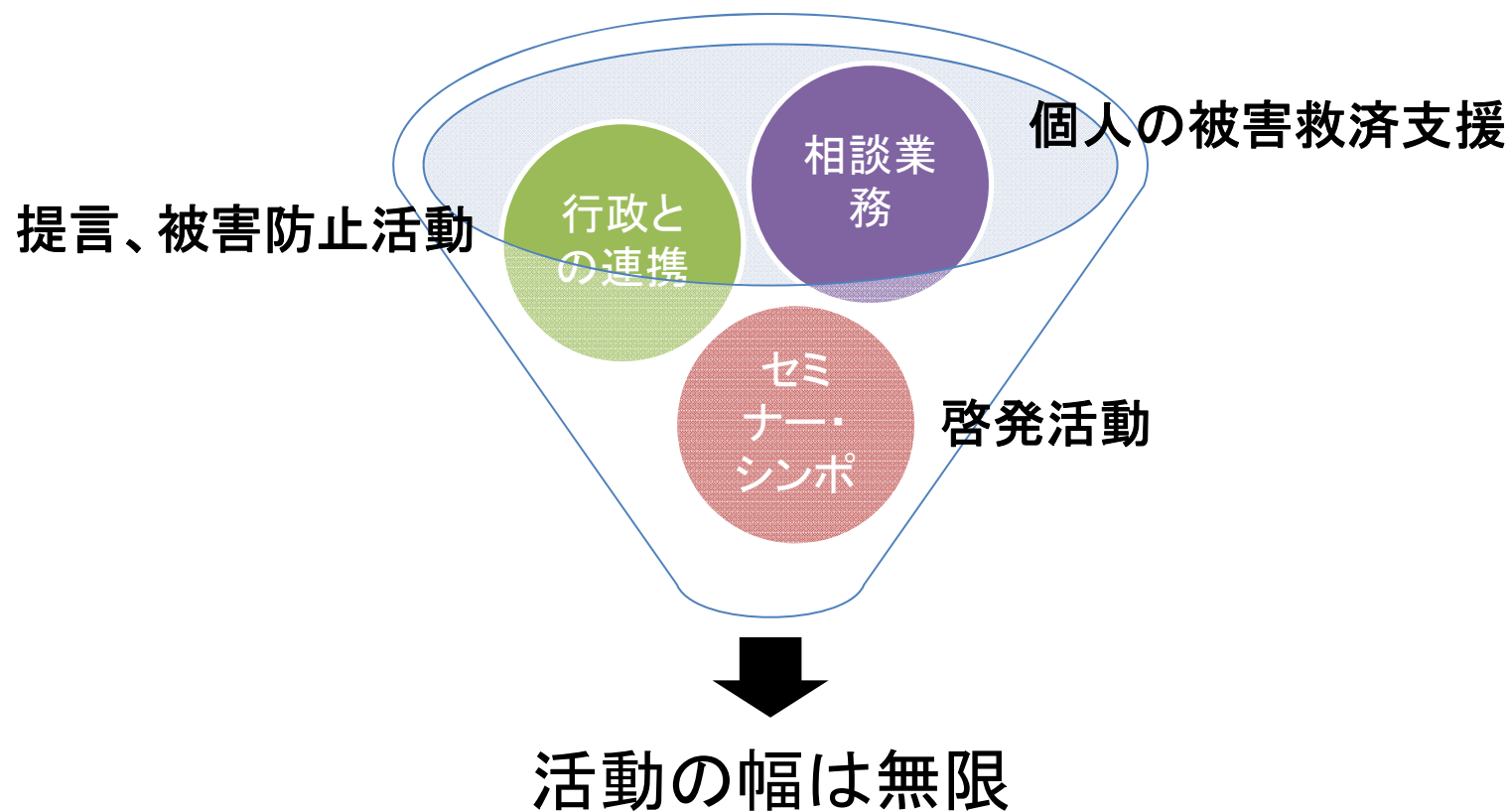


差止請求等の実績

- 不動産仲介業者が使用する「原状回復条項」
- スポーツクラブが使用する「免責条項」
- 瘦身役務提供業者が使用する「違約金条項」
- 予備校が使用する「違約金条項」
- 互助会契約における「違約金条項」
- 結婚式運営会社の「違約金条項」

現在も複数の条項について検討中

差止業務以外の活動



当団体が実施する相談事業(1)



大分県と
大分市が
常設の相談
機関設置

別府市、津久見市、杵築市

日出町 →相談員派遣

豊後高田市、中津市、

臼杵市

→相談員と弁護士が同席

のうえ相談業務

相談体制は順次拡大傾向

当団体が実施する相談事業(2)

- 現在、大分市と別府市において、毎週2回から3回の消費生活相談を実施中(2012年度は約50件)
- 未だ差し止めを検討する事案には遭遇していないが、ここ2年ほど、年間50件程度の相談が来るようになった。

当団体が実施する講演事業(1)

- 年1回から2回の頻度で実施してきた。講師は、例えば安西郁郎さんなど。
- 今年度は3月に実施予定(東ちづるさん)。講演の趣旨は、当団体の広報活動の一環。

当団体が実施する講演事業(2)

- 当団体の理事、会員による講演(年10件程)

- 被害予防のための講演(寸劇)

対象:

- 各地での団体設立に向けた講演

対象:

当団体が実施する育成事業(1)

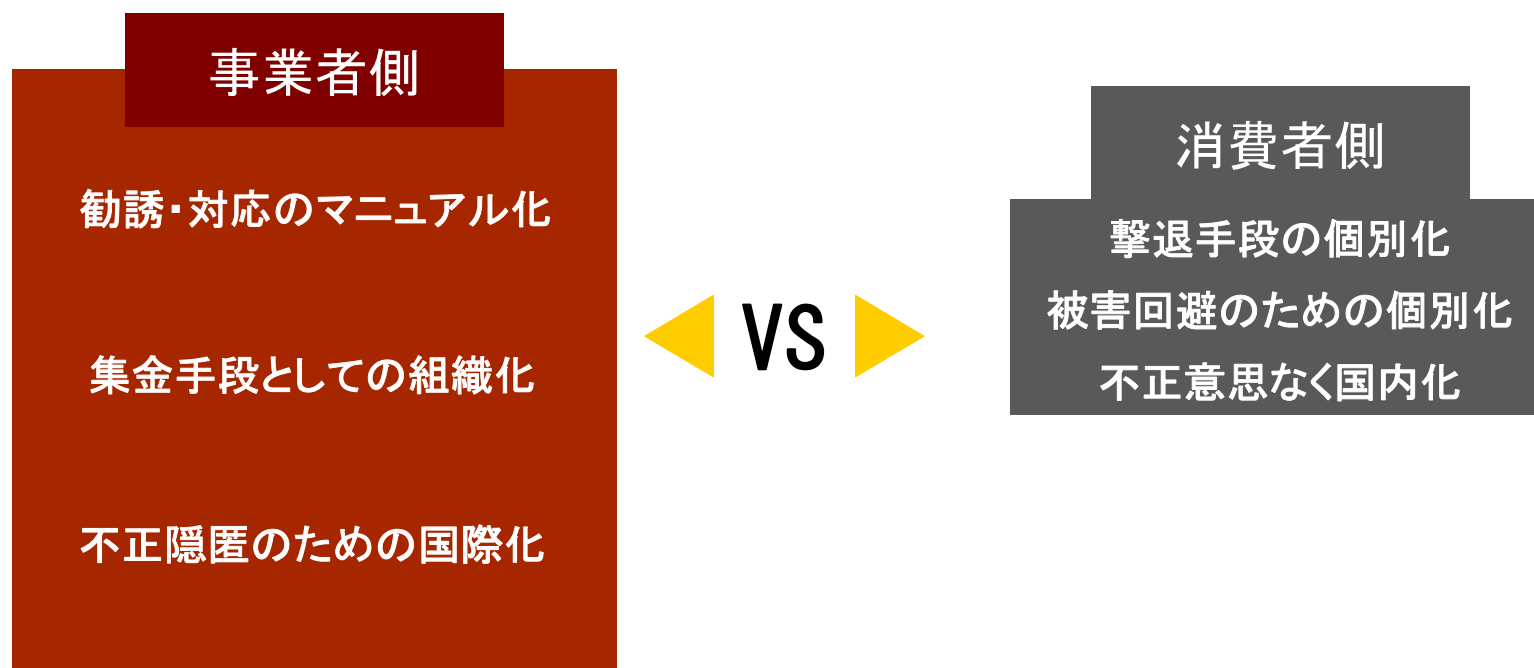
- 平成21年度から同24年度まで、消費生活相談員養成研修を受託
- 消費生活専門相談員資格試験への対応
→大分県下における相談員の数

当団体が実施する育成事業(2)

- 県下の各自治体における相談員と当団体との繋がり
 - 養成研修の既習者で、団体の会員
座学→実践→座学(研修)→実践・・・
“一気通貫”の養成体制
 - 情報の一元化や円滑な協働体制の確保

目指す未来(1)～私見～

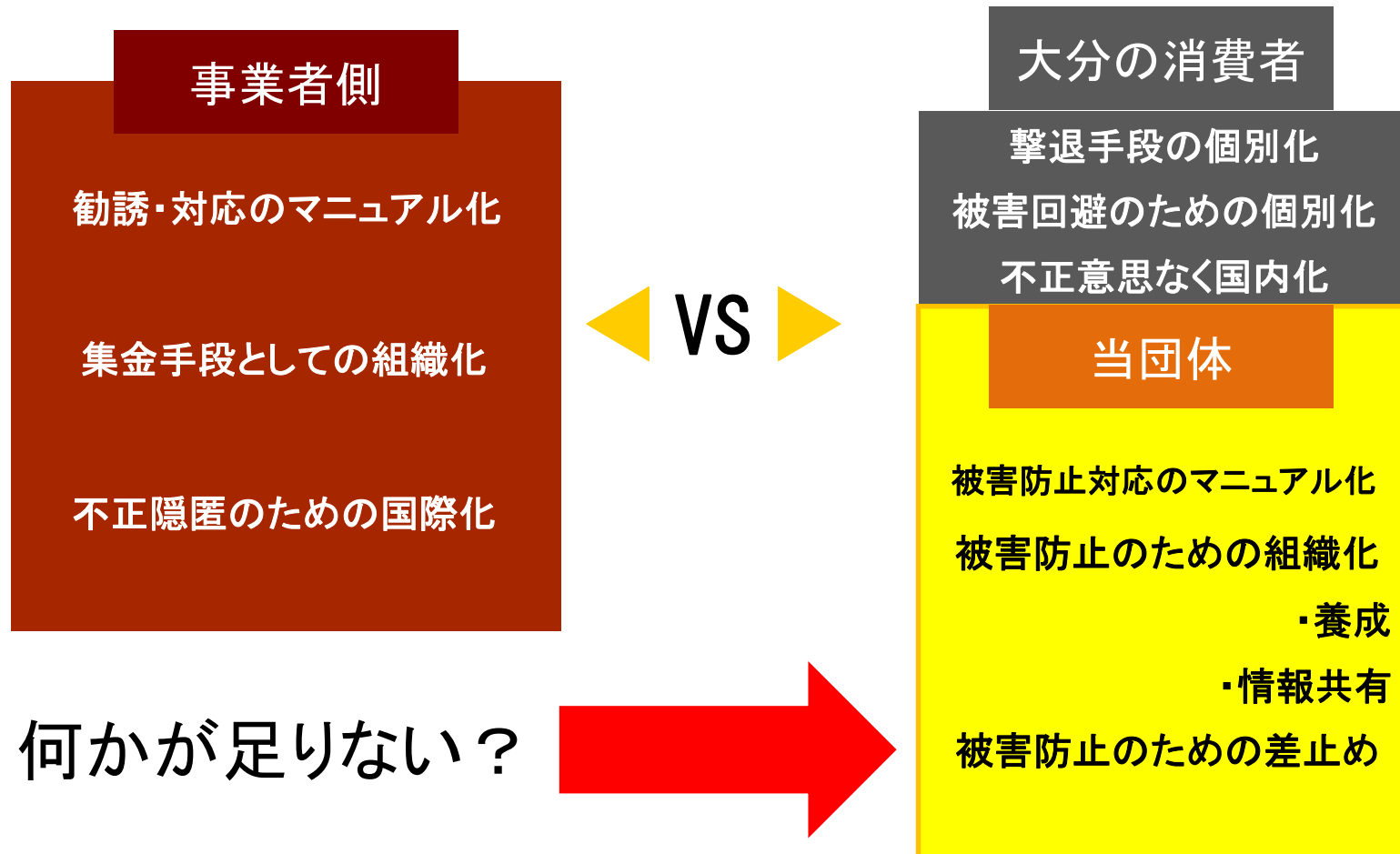
現代型消費者被害事案の特徴



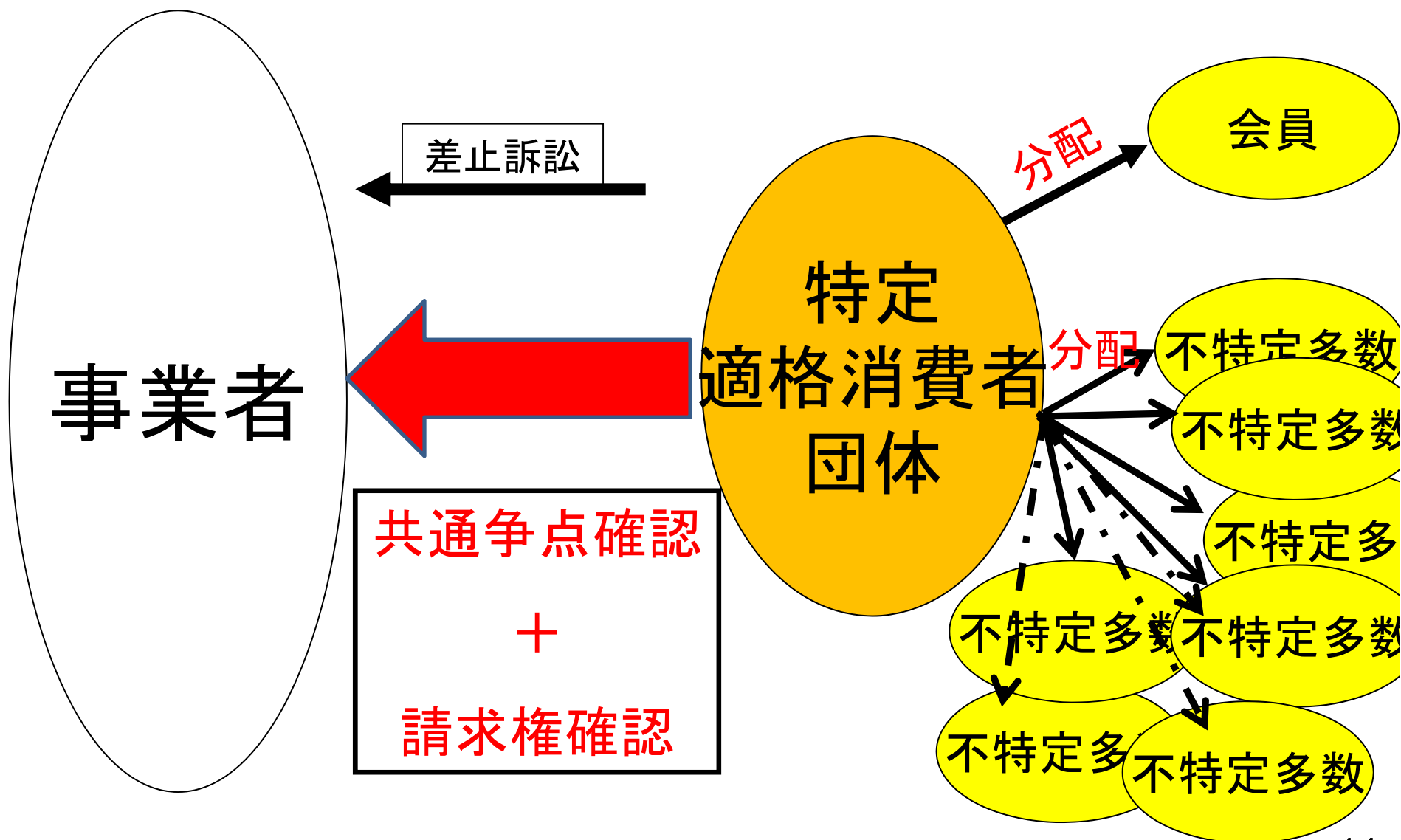
個人では太刀打ちできない！

目指す未来(2)～私見～

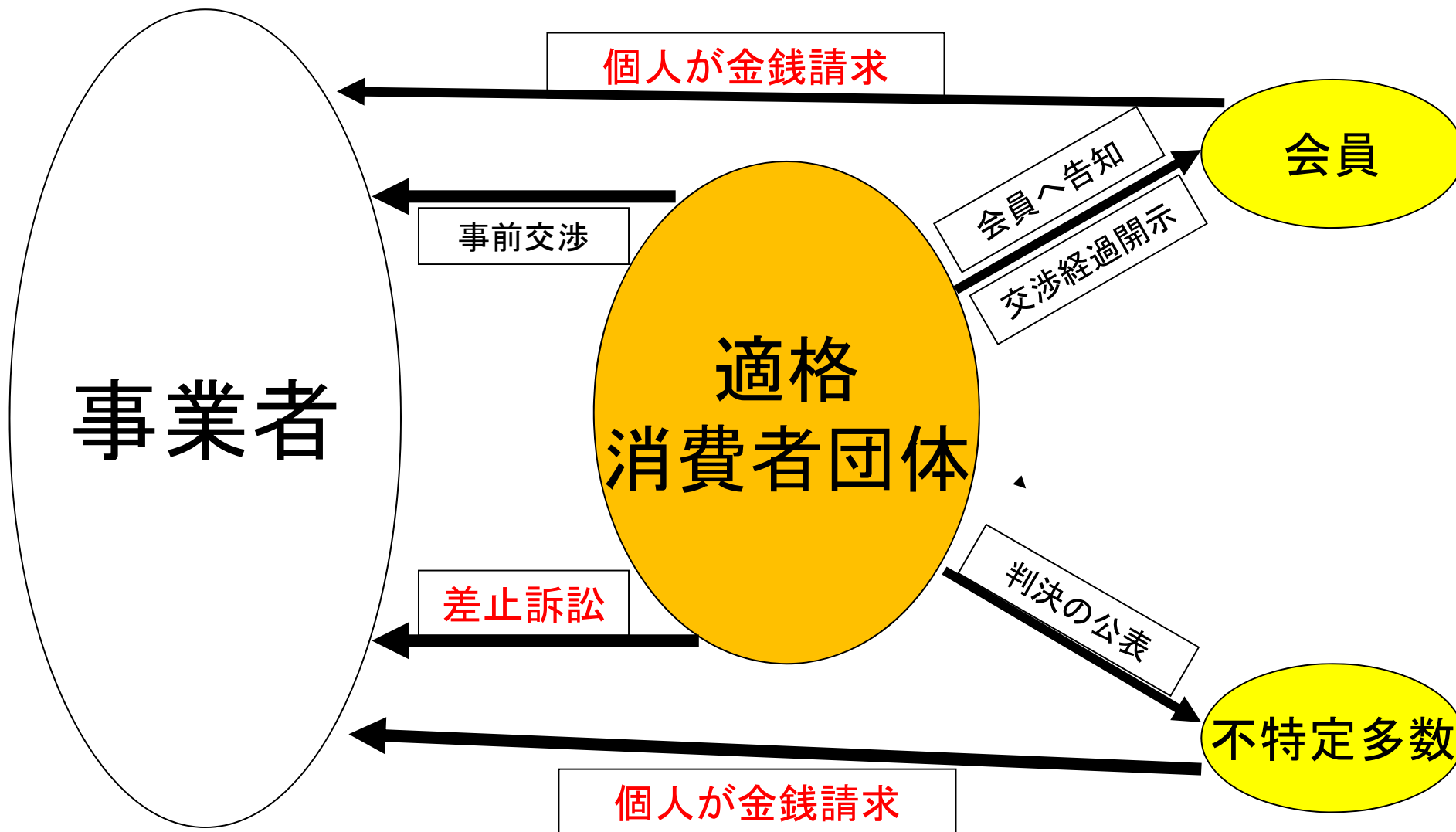
近未来の消費者被害防止体制



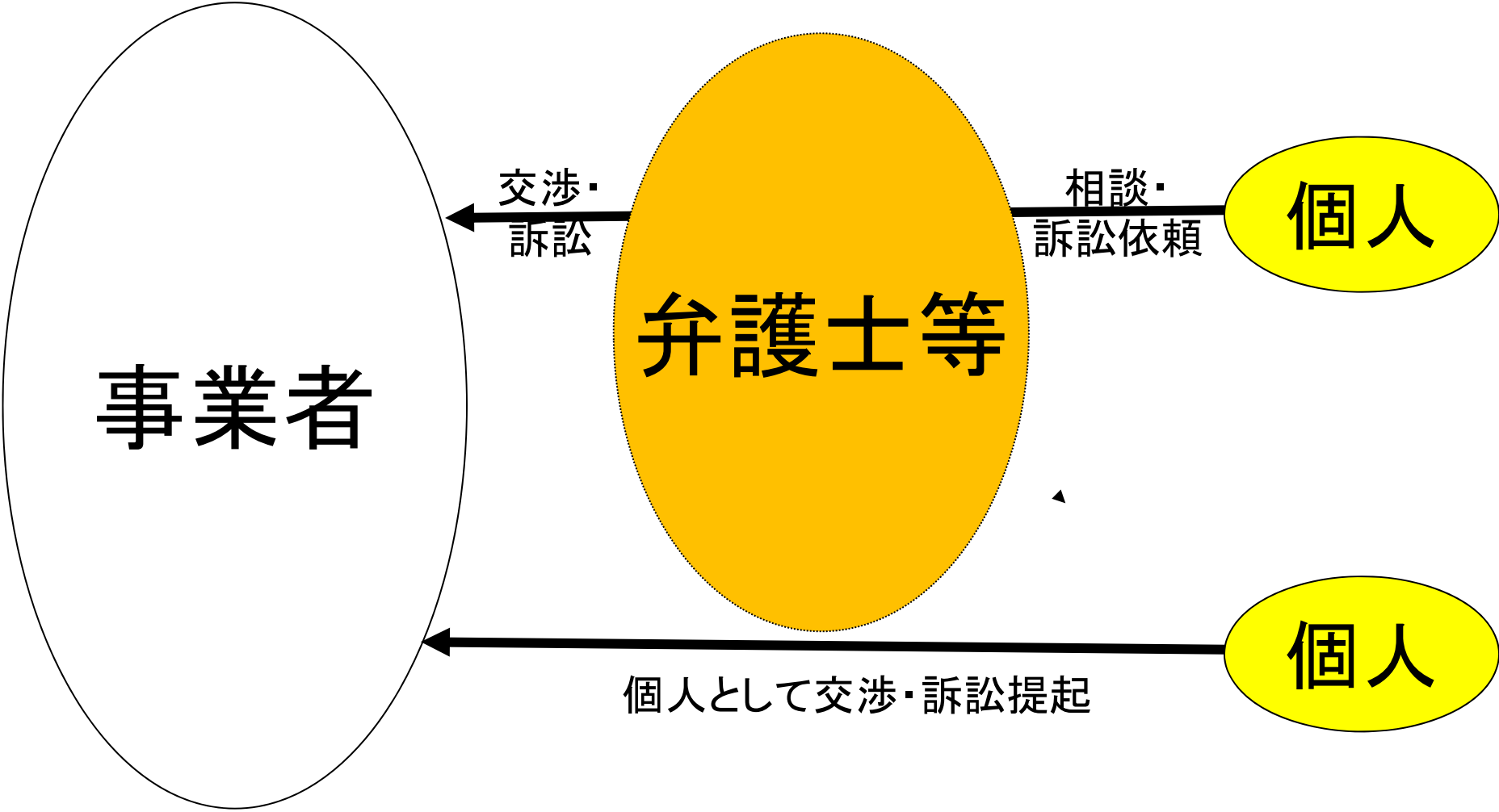
実現しようとしているやり方



今のやり方

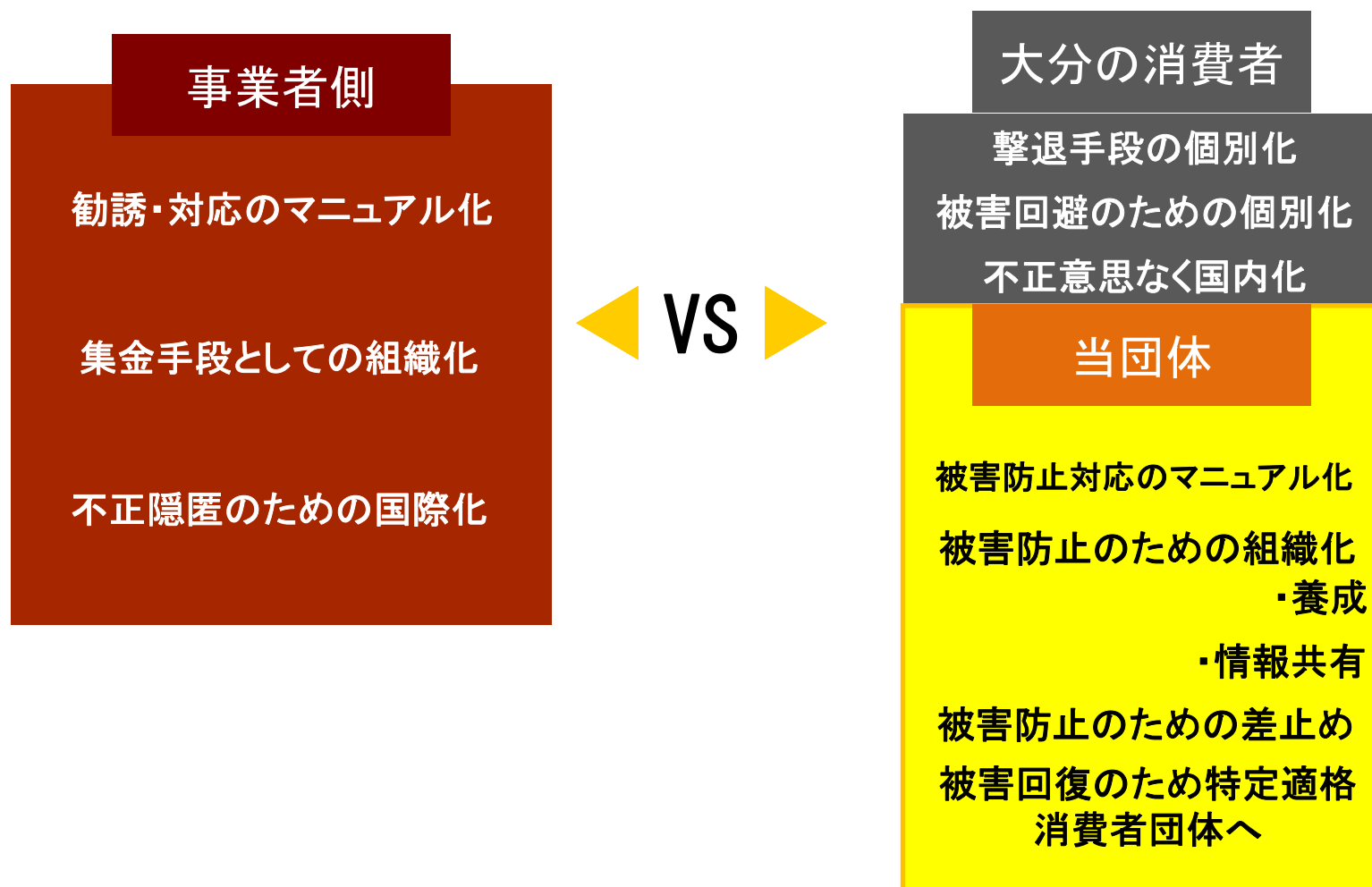


これまでのやり方



目指す未来(2)～再掲～

更に未来の消費者被害防止体制



2013年度事業計画(仮)

